



かがやく浜松市の未来へ

～持続可能な行財政運営を目指して～

みんなで創る、元気な未来。



井伊家断絶の危機を救った女領主・井伊直虎
平成二十九年の大河ドラマ
「おんな城主直虎」は浜松が舞台です



本日の内容

1. 浜松市のプロフィール	
・暮らしやすさ	3
・ものづくりのまち	4
・音楽の都	5
・豊富な特産品	6
・充実した観光	7
2. 浜松市の未来に向けて	
・市民の皆様との約束に基づく市政運営	9
・都市経営方針～浜松市未来ビジョン～	10
・浜松市“やらまいか”人口ビジョン	11
・浜松市“やらまいか”総合戦略	12
・平成29年度当初予算〈一般会計〉 （中長期的取組み）	13
・浜松市中期財政計画	14
・職員数の削減（定員適正化計画）	15
・戦略的な資産経営	16
3. 決算から見る浜松市の財政状況	
・普通会計決算の状況～歳入・歳出の概要～	18
・普通会計決算の状況～小さな行政型～	19
・普通会計決算の状況～財政の健全性～	20
・普通会計決算の状況～経年変化～	22
・税収の確保	23
・基金残高の状況	24
・市債残高の状況	25
・公営企業会計決算の状況	26
・外郭団体の経営健全化	27
4. 市債発行方針	
・市債管理方針	29
・減債基金の積立	30
・浜松市の格付け	31
・平成29年度市場公募債発行概要	32

※表示単位未満を四捨五入していますので、
内訳と合計や、伸び率等の計算が一致
しないことがあります

1 浜松市のプロフィール

- 暮らしやすさ
- ものづくりのまち
- 音楽の都
- 豊富な特産品
- 充実した観光



暮らしやすさ

本州最後の楽園!

人口：806,407人
(平成29年4月1日現在、住民登録による)

◆四方を自然に囲まれた政令指定都市

- ・平成17年7月1日の12市町村による大合併、平成19年4月1日に政令指定都市に移行し、平成23年には100周年を迎えた。
- ・東は天竜川、西は浜名湖、南は遠州灘、北は南アルプスの山々など、四方を豊かな自然に囲まれている。

◆全国2番目の市域面積

- ・東西約52km、南北約73kmの浜松市面積は、1,558.06Km²で全国2番目の広さ。

◆恵まれた交通アクセス

- ・日本のほぼ中央、東京と大阪の間に位置する浜松市は、東海道新幹線、東名高速道路が東西を通り、新幹線では、東京・大阪から90分の距離

◆さまざまなライフスタイルを選択可能

- ・市街地で都会的な暮らしを楽しむ“アーバンライフ”
- ・山間部で自然とふれあいながらゆっくりと暮らす“スローライフ”
- ・浜名湖畔でマリンスポーツなどを楽しみながら暮らす“リゾートライフ”

◆教育や医療も充実

- ・教育環境日本一を目指す取り組み
多くの教育指導支援員を配置したり、教員の資質向上に向けた「浜松教師塾」を実施
- ・市民の安心を支える充実の救急医療体制「浜松方式」
医師会、病院、救急隊、行政の協同により全国に先駆けて整備
1次救急（軽症患者）から3次救急（重症患者）まで緊密に連携対応



ものづくりのまち

やらまいか精神が培う進取の精神



日本初の国産オートバイ

◆オートバイ・自動車産業

本田宗一郎のホンダにはじまり、スズキ、ヤマハ発動機などオートバイの世界的なブランドが浜松から誕生。自動車産業の発展へとつながっていった。

◆楽器産業

製材業と機械産業、そして山葉寅楠と河合小市という二人の天才技術者が浜松の楽器産業を興す礎となった。現在、ヤマハ、カワイ、ローランドなどの世界に誇る楽器メーカーが、浜松に本拠地を構えている。



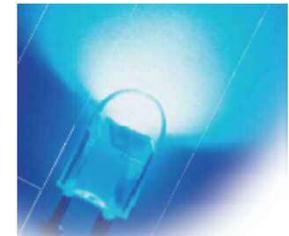
日本初の国産ピアノ

◆光・電子産業

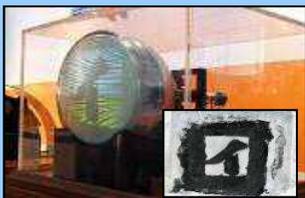
世界で初めてブラウン管による電子式受像に成功した高柳健次郎の快挙から、この浜松の地に光・電子産業が根づいた。浜松ホトニクスは光電子増倍管の生産は国内で100%、世界的には約90%のシェア

【青色LED】

世界初の青色LEDの開発に成功した浜松市出身の天野浩名古屋大学特別教授はその功績が認められ、ノーベル物理学賞を受賞



浜松からの世界初・日本初



世界初の電子式テレビ実験成功



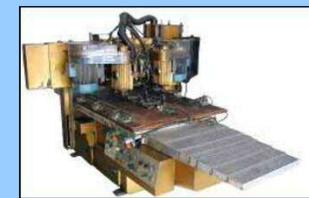
世界初の胃カメラ



日本初の軽自動車



日本初の国産旅客機



日本初の木工機械



日本初の国産アルミホイール

「音楽のまち」から世界を代表する「音楽の都」へ ユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野にアジアで初めて加盟（平成26年12月）

◆世界的な音楽事業の開催

浜松国際ピアノコンクール

- ・平成3年度から3年毎に開催
- ・国際音楽コンクール
世界連盟加盟(平成10年度)
- ・若手ピアニストの登竜門
- ・第156回直木賞 蜜蜂と遠雷
(恩田陸)は、浜松国際ピアノコンクールを題材に書かれた小説



◆市民が楽しむ音楽イベント

プロムナードコンサート

- ・JR浜松駅前北口広場「キタラ」
などで週末に開催される、地元
学校の吹奏楽部やアマチュア
楽団などによる演奏



◆充実した音楽環境・人材育成

アクトシティ浜松大ホール

- ・2,336の客席を持つ、
日本初の四面舞台
- ・本格的なオペラ、
バレエ、演劇など
舞台芸術に対応



浜松市楽器博物館

- ・1995年に日本初の公立楽器博物館として開設
- ・常設展・特別展のほか、演奏会・講座・学校との
共同授業など多種多様な活動を展開

ドイツ・ハノーバー市との音楽分野交流

- ・音楽分野の創造都市としてドイツ・ハノーバー市との
音楽分野交流に関する確認書に署名（平成28年10月）

豊富な特産品

豊かな自然環境から生み出される浜松ブランド

◆浜松が誇る代表的な海の幸

浜名湖うなぎ

・温暖な気候と養殖に不可欠な種苗、水、飼料の3条件を兼ね備えた浜名湖は、全国的なうなぎの産地として知られる。



遠州灘天然トラフグ

遠州灘シラス

浜名湖アサリ



◆浜松が誇る代表的な大地の幸

三ヶ日みかん

・浜松の代表的な果物。奥浜名湖の三ヶ日町、細江町、引佐町において栽培が盛んで、特に三ヶ日みかんは全国ブランドとして知られている。



ガーベラ

・日照時間の長さとお水はけの良い土壌により、日本一の生産量

浜松茶・遠州山のお茶



◆地元に根付いたB級グルメ

浜松餃子

・具にキャベツや白菜などの野菜をふんだんに使用し、付け合せとして茹でたもやしを添えるのが1つの特徴



◆広大な山々からの恵み

天竜美林

・浜松市の森林面積は全域の約66%を占める。その中でも北遠の山々は天竜美林と呼ばれ、吉野、飛騨とともに三大人工美林に位置づけられている。



充実した観光

広いエリアに多彩な観光ポイント

◆四季、自然を楽しむ

中田島砂丘

- ・太平洋に面して広がる、日本三大砂丘の一つ。
- ・ロケ地としての需要も高い。



弁天島

- ・鳥居越しに沈む夕陽は感動的



◆まつりに酔う

浜松まつり

- ・毎年5月3日から5日まで、中田島砂丘近くの会場で凧の糸切り合戦が繰り広げられる。
- ・夜は中心街に舞台を移し、屋台が引き回され、町衆の激練りも加わり、雰囲気は最高潮に。



◆歴史、文化に触れる

浜松城

- ・徳川家康以降、その城主が幕府で重用された例が多いことから「出世城」とも呼ばれる。



龍潭寺

- ・徳川四天王とよばれ徳川幕府の礎を築いた井伊直政の養母「井伊直虎」ゆかりのお寺



◆癒しに浸る

舘山寺温泉

- ・浜名湖に面した舘山寺温泉は、眼前に広がる湖面を楽しみながら入浴ができる。



はままつフラワーパーク

- ・四季折々の花々が咲き乱れる花のテーマパーク



2 浜松市の未来に向けて

- 市民の皆様との約束に基づく市政運営
- 都市経営方針～浜松市未来ビジョン～
- 浜松市“やらまいか”人口ビジョン
- 浜松市“やらまいか”総合戦略
- 平成29年度当初予算〈一般会計〉
- (中長期的取組み)
浜松市中期財政計画 など



市民の皆様との約束に基づく市政運営

第1期(H19-H22)

① 『こども第一主義』

- ・子育て世代を全力で応援
- ・地域一体の教育で浜松の未来を創造

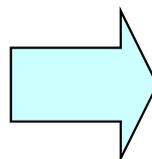
② 『くらし満足度向上』

- ・住みやすさナンバーワンの「ひとつの浜松」
- ・安全安心の医療と介護

③ 『行財政改革の推進』

- ・スピードのある行財政改革で必要な財源を捻出
- ・市長みずからが先頭に立つ

第3回
マニフェスト大賞
首長グランプリ受賞



第2期(H23-H26)

① 『やります！人財(ひと)づくり』

- ・創造性あふれる市民が集い主体的に行動
- ・浜松の未来の担い手となる人材の育成

② 『やります！産業(もの)づくり』

- ・イノベーションに果敢に挑戦
- ・新たな技術や人材、産業の創出を支援

③ 『やります！文化(こと)づくり』

- ・多様な文化芸術を基盤とした人材の交流
- ・市民が主体となって文化を創造・発展

第3期(H27-H30)

① 『やります！次世代にツナグ』

- ・魅力ある「創造都市・浜松」をつくる
- ・安全で安心なまちづくり
- ・豊かな自然環境を後世に残す
- ・足腰の強い財政基盤づくり

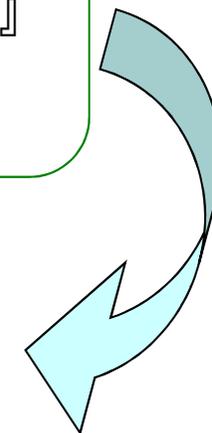
② 『やります！世界とツナグ』

- ・音楽を機軸とした創造的な文化や産業の振興
- ・戦略的なCPの展開
- ・農作物をはじめとした特産品の海外への積極的な販路拡大

③ 『やります！人をツナグ』

- ・企業等の人材が学校教育等に参画する仕組みづくり
- ・地域の見守り体制の拡充
- ・都市部と中山間地域の市内間交流
- ・地域活動の活発化や担い手となる人材の育成

平成27年4月～
市長3期目



都市経営方針～浜松市未来ビジョン～

浜松市未来ビジョン(30年後)

<都市の将来像>

市民協働で築く 『未来へかがやく創造都市・浜松』

【創造都市】

技術も文化も国際色豊かなクリエイティブシティ

【市民協働】

小さな歯車が重なって大きな‘こと’を動かす

【ひとづくり】

新しさを生む伝統を未来へつなぐ

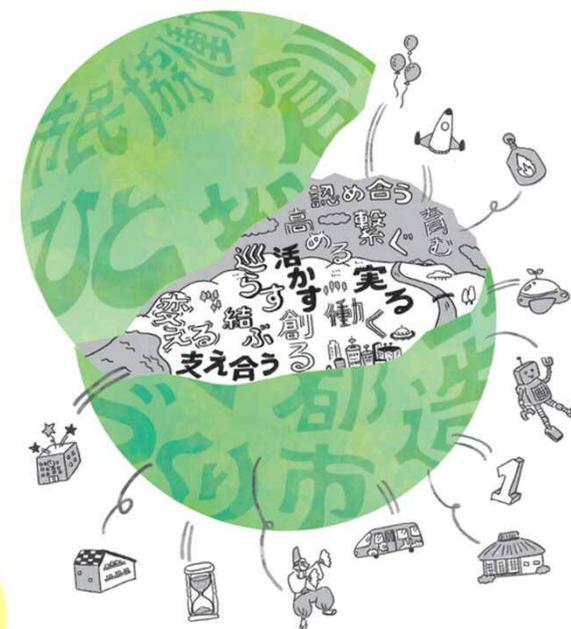
浜松市未来ビジョン第1次推進プラン(10年後)

■ 都市経営の考え方

- 市民協働で高める地域力
- 未来まで続く持続可能なまち
- 未知の感動を生み出す創造都市
- 想定外にも対応できる自立・自律したまち
- 世界とツナグ・地域とツナグ

■ 分野別計画

- 産業経済
- 子育て・教育
- 安全・安心・快適
- 環境・エネルギー
- 健康・福祉
- 文化・生涯学習
- 地方自治・都市経営



毎年策定

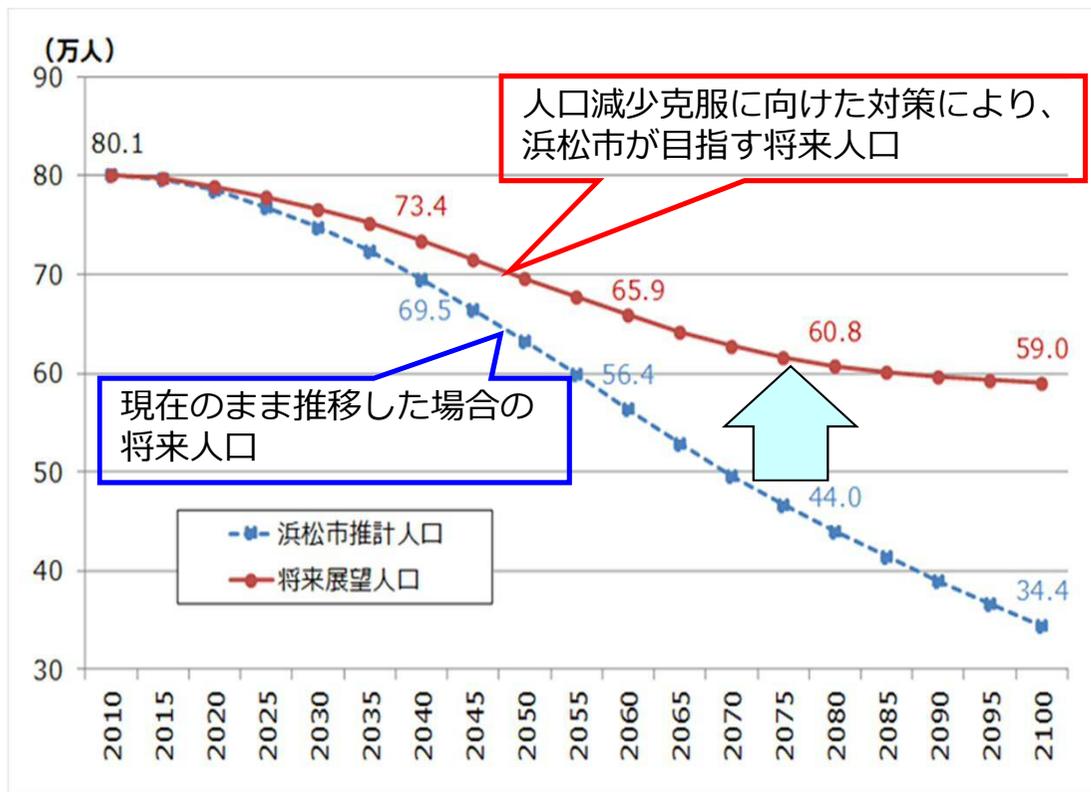
浜松市戦略計画

浜松市“やらまいか”人口ビジョン

<目標>

合計特殊出生率：2025年までに1.84、2035年までに2.07

社会移動：2020年までに東京圏との社会移動を均衡させる



○浜松市が目指す将来の人口(将来人口展望)

2040年:73.4万人

2060年:65.9万人



○現在の出生率、稼働率などが
このまま続いた場合

2040年:69.5万人

2060年:56.4万人

<人口減少を抑え、長期的な人口構成の最適化に向けた方針>

- ・若者、子育て世代の生活基盤の安定
- ・希望出生数をかなえる環境整備
- ・だれもが引き寄せられる都市の魅力を創出

浜松市“やらまいか”総合戦略

人口減少を抑え、長期的な人口構成の最適化を図るための3つの基本目標

I 若者がチャレンジできるまち

- 満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合 26.0% → 30.0%
- 市内総生産額 2.97兆円 → 3.3兆円以上

II 子育て世代を全力で応援するまち

- 合計特殊出生率 1.47 → 1.84
- 子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う人の割合 23.4% → 50.0%

III 持続可能で創造性あふれるまち

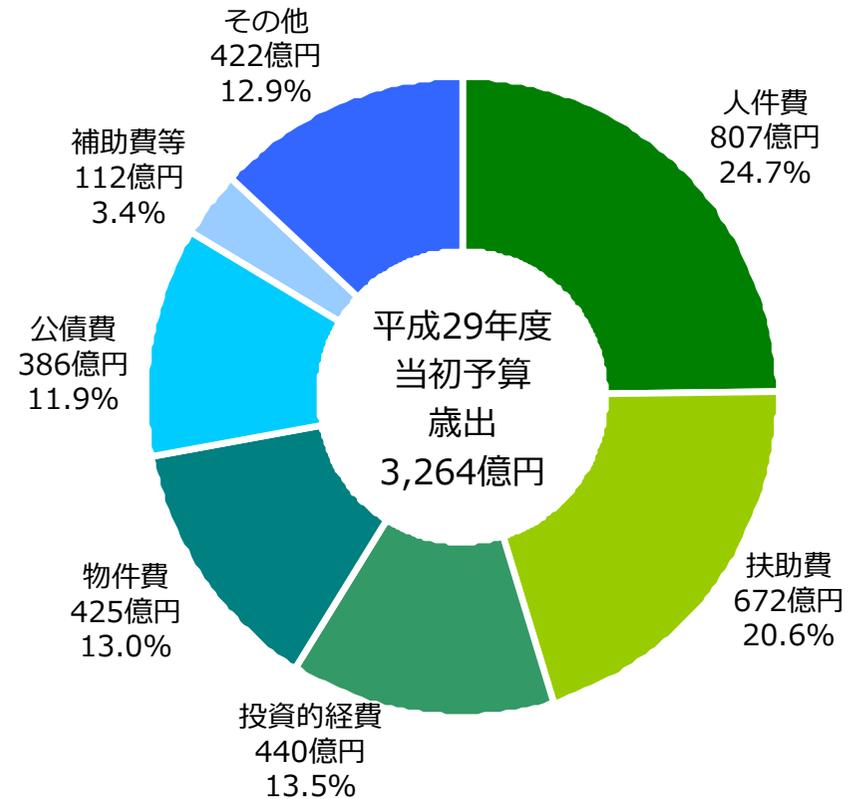
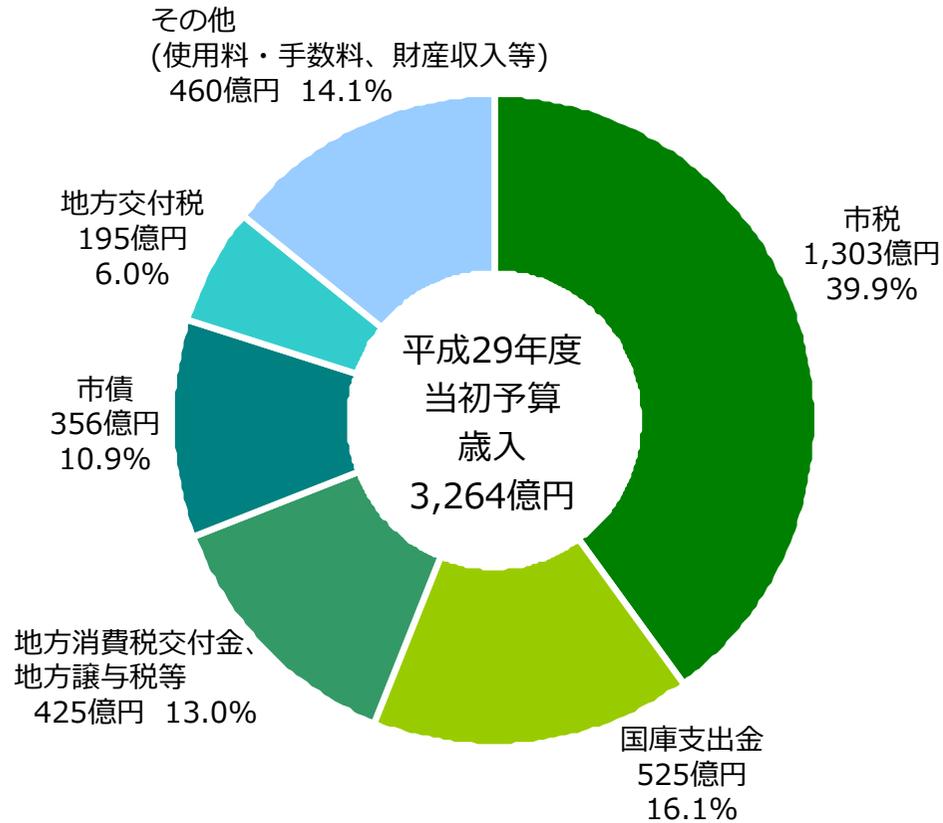
- 住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合 58.9% → 65.0%
- 健康寿命 男72.98歳、女75.94歳 → 男73.98歳、女76.94歳

☆浜松市の地方創生のキーワード“やらまいか精神”

平成29年度当初予算 <一般会計>

一般会計 3,264億円(前年度比312億円の増)

政令指定都市移行後、最大の予算規模



都市の将来像である「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の実現に向けた挑戦を継続しつつ、地方創生に向けた「浜松市“やらまいか”総合戦略」に基づく取り組みを積極的に推進

人口減少下における中長期的な財政運営指針

■ 計画期間 平成27年度～36年度（10年間）

■ 目標値

①一人あたり市債残高

平成36年度末までに55万円／人以下とする

②補足目標

ア 実質公債費比率（フロー指標）

類似政令指定都市（※）平均を下回る

イ 将来負担比率（ストック指標）

実質0%近傍を維持

※類似都市とは、平成13年度以降に合併を行い政令指定都市に移行した8都市を指す

⇒さいたま市、静岡市、堺市、浜松市、新潟市、岡山市、相模原市、熊本市

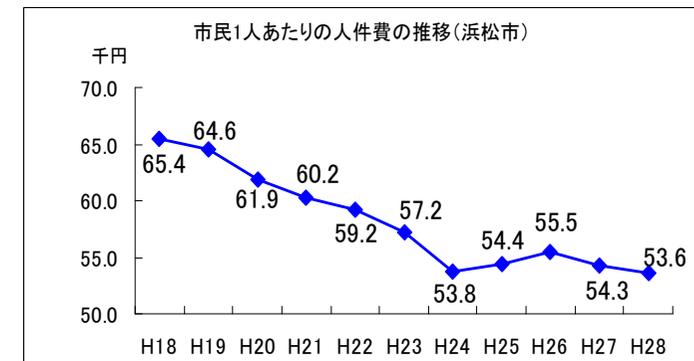
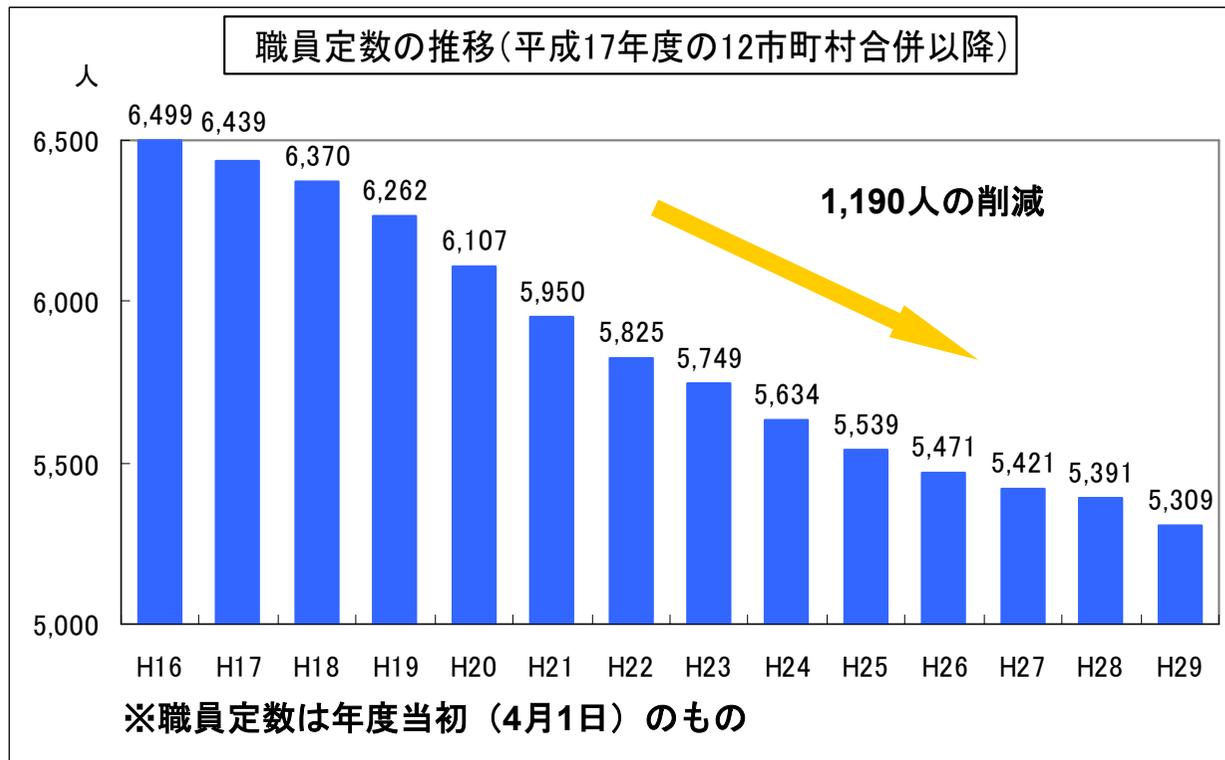
○中長期的な財政運営指針となる中期財政計画の必要性

・人口減少下においてこそ、中長期的な視点からの財政の健全化を意識して財政運営を行うことが重要

・30年先の将来を念頭に総合的な施策を定めた浜松市総合計画基本計画と同じ10年間を対象期間として中期財政計画を策定し、一人あたり市債残高の縮減を主たる目標とする

職員数の削減（定員適正化計画）

- 計画期間 平成28年4月1日～平成32年4月1日
- 目標 330人の削減
 事務事業の見直しなどにより408人削減
 新たな行政需要などに対応するため78人増員
- ・ 2期(H18～H22、H23～H27)にわたる定員適正化計画の推進により、平成27年4月までに職員定数を1,078人削減
- ・ 新たな定員適正化計画を策定し、更なる削減を継続（平成29年4月現在1,190人の削減）



市民1人あたりの人件費(H27)

(単位：千円)

	人件費/人口	順位
札幌市	49.6	1
福岡市	50.3	2
横浜市	53.8	3
浜松市	54.3	4
政令市平均	63.3	

- ・ 市民一人あたり人件費を10年間で約18%カット
- ・ 政令指定都市の中で4番目に低い

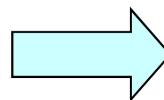
(平成27年度普通会計決算より)

(住民基本台帳の平成27年度末人口による)

戦略的な資産経営

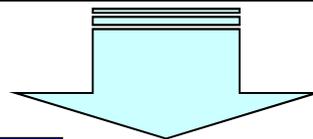
資産経営推進方針(平成21年度～)

- ・「財産管理」から脱し、コスト意識・経営感覚を伴った戦略的な「資産経営」にいち早く移行
- ・第6回日本ファシリティマネジメント大賞最優秀賞受賞(H23.2月)



■施設の削減状況

- 439施設(約22万㎡)を削減(平成21～27年度)
- ⇒ 年間維持管理経費 △約5億円
 - ⇒ 50年間の更新・改修経費 △約1,100億円



公共施設等総合管理計画(平成28年3月)

従来からのハコモノ資産の取り組みに加え、道路・橋りょうなどインフラ資産も含め包括的な資産経営

■基本的事項

資産の見直しや活用、運営管理、処分などに関するプロセス全般を資産経営と位置付け、長期的かつ着実に推進するための羅針盤として策定

■計画期間 平成27年度～36年度(10年間)

■資産経営の基本的理念

「知る・変える・活かす」で支える都市経営

- 知る……資産の状況をしっかり「知る」
- 変える……従来の考え方にとらわれず「変える」
- 活かす……創意工夫により資産を最大限「活かす」

■6つの基本方針

- ・公共施設に関するムリ・ムダ・ムラの是正
- ・安全・安心な公共施設の提供
- ・公共施設の最大限の有効活用
- ・民間活力の積極的な活用
- ・まちづくりとの連携及び近隣市町等との連携
- ・実効ある進捗管理

■マネジメントの手法

【ハコモノ資産】

所管課とアセットマネジメント推進課を主とする関係課が「施設カルテ」を共有し、中長期的な総量縮減・民間活力の活用などの視点を持ちつつPDCAサイクルの実行

【インフラ資産】

RBM(リスクベース・メンテナンス)を踏まえた長寿命化計画などを基本に、メンテナンスサイクル(点検⇒診断⇒措置⇒記録)を実行することで、実態に即した予防保全を推進

3 決算から見る浜松市の財政状況

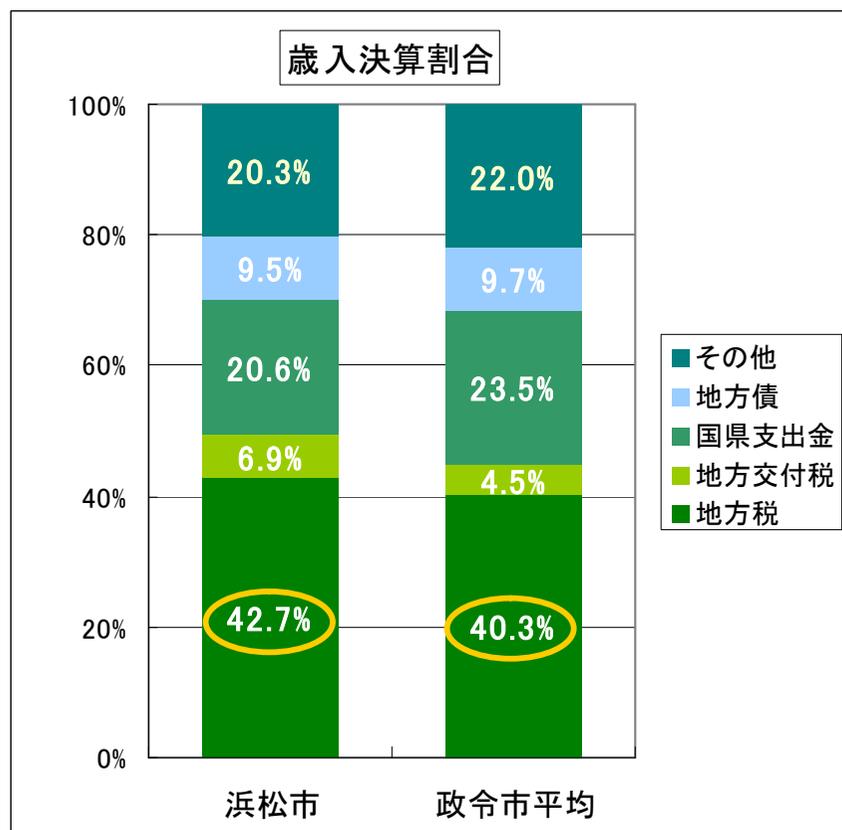
- 普通会計決算の状況
- 税収の確保
- 基金残高の状況
- 市債残高の状況
- 公営企業会計決算の状況
- 外郭団体の経営健全化



普通会計決算の状況～歳入・歳出の概要～

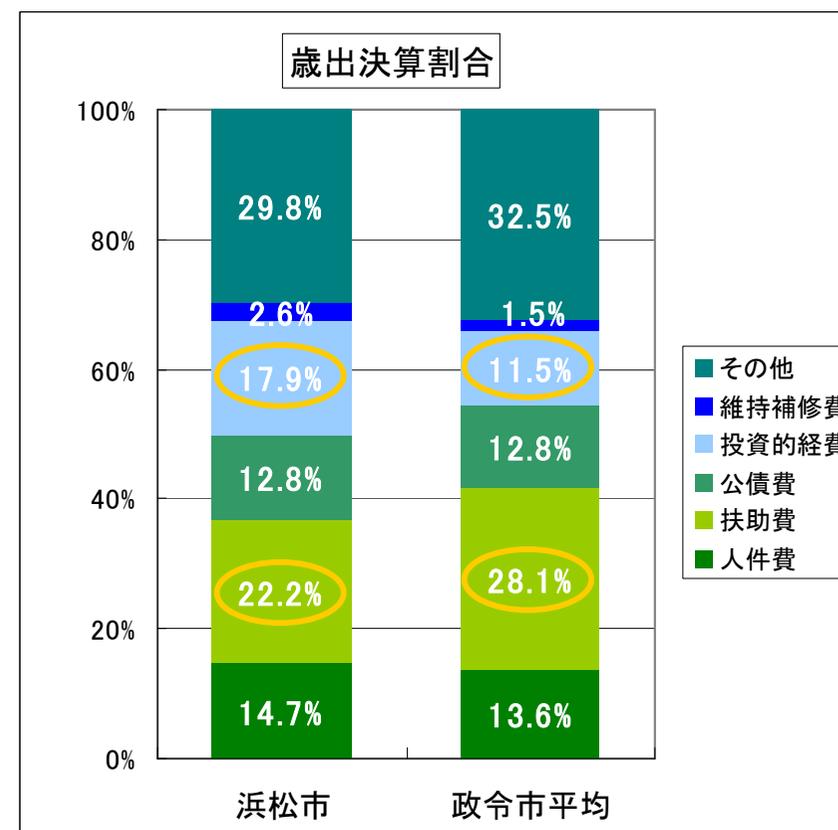
<28年度歳入決算額> 3,042億円

- 高い地方税割合(対政令市平均+2.3%)



<28年度歳出決算額> 2,950億円

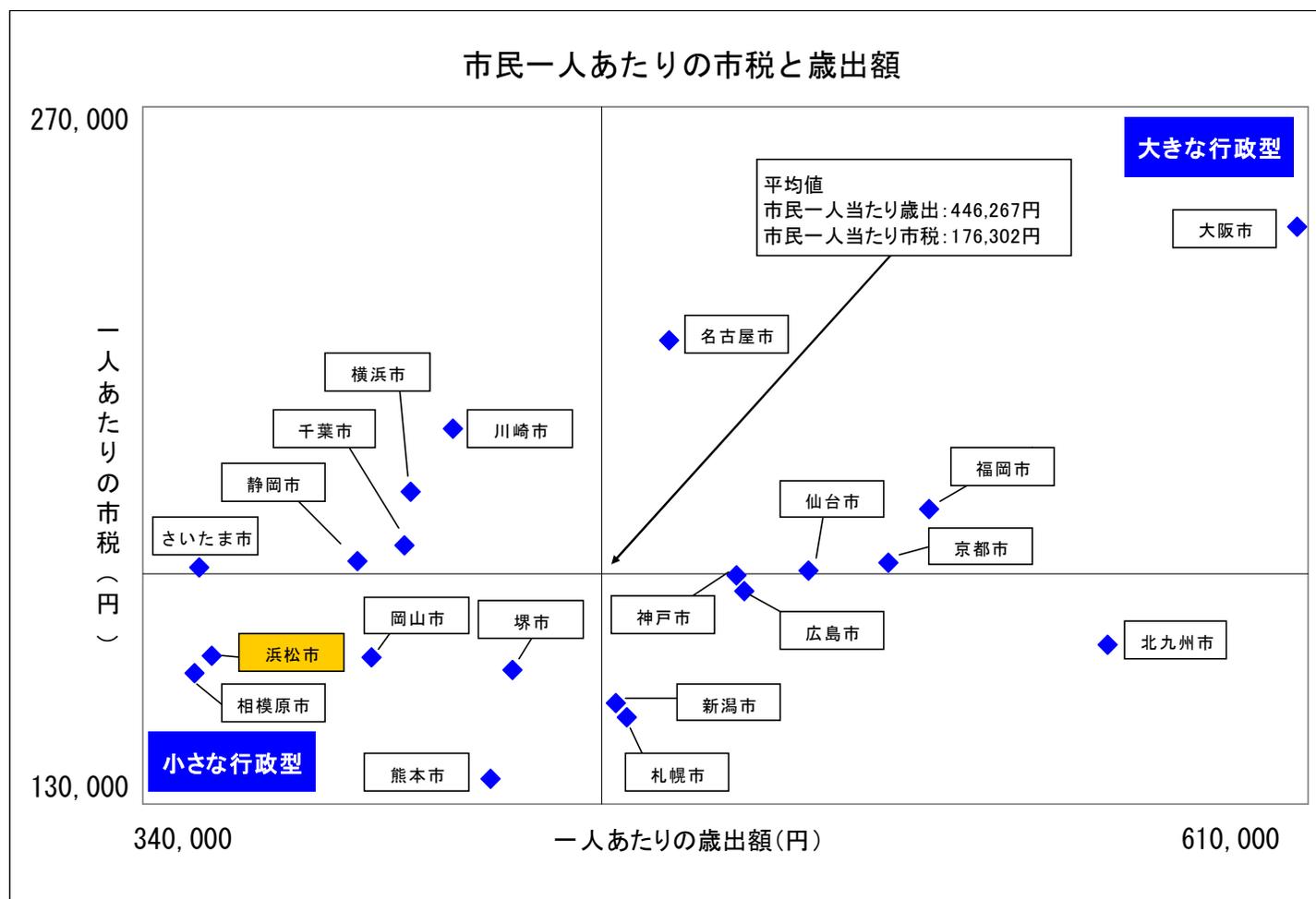
- 低い扶助費割合(対政令市平均△5.9%)
- 高い投資的経費割合(対政令市平均+6.4%)



※平成28年度決算 政令市平均は平成28年度決算速報値の単純平均

普通会計決算の状況～小さな行政型～

たゆまぬ行財政改革の結果、低コスト体質を実現



【市民1人あたり歳出額】

	市名	千円
1	相模原市	352
2	さいたま市	353
3	浜松市	356
4	静岡市	390
5	岡山市	393
6	千葉市	401
7	横浜市	402
8	川崎市	412
9	熊本市	421
10	堺市	426
11	新潟市	450
12	札幌市	452
13	名古屋市	462
13	神戸市	478
15	広島市	479
16	仙台市	494
17	京都市	513
18	福岡市	522
19	北九州市	564
20	大阪市	608
	単純平均	446

平成27年度普通会計決算より
人口は年度末人口

- ・ 市民一人あたりの市税は政令指定都市平均を下回る
- ・ 市民一人あたりの歳出額は政令指定都市の中で3番目に少ない

普通会計決算の状況～財政の健全性～

財政状況の健全性は、政令指定都市の中でトップ水準

- ・ 早期健全化基準より大幅に低い値
- ・ 将来負担比率は政令指定都市で最も良い値

(単位: %)

項目	28年度 A	27年度 B	増減 A-B	早期 健全化 基準
実質赤字比率	黒字	黒字	-	11.25
連結実質赤字比率	黒字	黒字	-	16.25
実質公債費比率	8.4	9.1	△ 0.7	25.0
将来負担比率	- (△26.0)	- (△16.3)	- (△9.7)	400.0

※将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「-」と表示
参考に () 内に上回る額の比率をマイナス (△) で表示

【主な財政指標】

※27年度決算、表中の太線は単純平均分岐線

順位	財政力指数		経常収支比率		実質公債費比率		将来負担比率	
	市名	値	市名	値	市名	値	市名	値
1	川崎市	1.00	岡山市	87.5	相模原市	3.2	浜松市	-
2	名古屋市	0.99	浜松市	90.3	札幌市	4.9	さいたま市	9.7
3	さいたま市	0.98	熊本市	90.9	さいたま市	5.0	堺市	15.6
4	横浜市	0.97	静岡市	91.3	堺市	5.5	岡山市	27.7
5	千葉市	0.95	札幌市	91.6	川崎市	7.5	相模原市	37.9
6	相模原市	0.93	福岡市	92.5	神戸市	7.9	静岡市	59.5
7	大阪市	0.92	新潟市	94.0	静岡市	8.5	札幌市	61.8
8	静岡市	0.91	横浜市	95.2	浜松市	9.1	神戸市	80.2
9	仙台市	0.89	さいたま市	95.6	大阪市	9.2	大阪市	117.1
10	浜松市	0.89	千葉市	95.7	岡山市	9.5	川崎市	117.4
11	福岡市	0.88	北九州市	95.7	熊本市	9.6	仙台市	122.8
12	堺市	0.84	神戸市	95.9	仙台市	9.8	熊本市	125.5
13	広島市	0.83	仙台市	96.2	新潟市	11.0	新潟市	138.9
14	岡山市	0.79	堺市	96.9	福岡市	12.4	名古屋市	147.4
15	神戸市	0.79	広島市	97.4	北九州市	12.6	福岡市	162.4
16	京都市	0.79	名古屋市	97.5	名古屋市	12.7	横浜市	175.6
17	新潟市	0.75	大阪市	97.6	広島市	15.0	北九州市	188.3
18	札幌市	0.72	川崎市	97.7	京都市	15.2	千葉市	208.7
19	北九州市	0.72	相模原市	98.0	横浜市	17.0	広島市	223.9
20	熊本市	0.71	京都市	99.0	千葉市	18.0	京都市	229.6
	単純平均	0.86	単純平均	94.8	単純平均	10.2	単純平均	112.5

普通会計決算の状況～財政の健全性～

財政状況の健全性は、政令指定都市の中でトップ水準

順位	生活保護率		ラスパイレス指数		実質的な経常収支比率	
	値	値	値	値	値	値
1	浜松市	0.94	大阪市	94.2	浜松市	96.1
2	静岡市	1.26	広島市	98.7	岡山市	97.6
3	新潟市	1.47	新潟市	99.2	川崎市	99.2
4	さいたま市	1.59	浜松市	99.3	さいたま市	100.6
5	仙台市	1.65	相模原市	99.5	静岡市	100.8
6	横浜市	1.91	名古屋市	99.8	名古屋市	101.4
7	岡山市	1.91	札幌市	100.0	横浜市	101.7
8	相模原市	1.95	堺市	100.5	福岡市	102.2
9	千葉市	2.08	横浜市	100.7	熊本市	102.6
10	名古屋市	2.15	神戸市	100.8	札幌市	103.3
11	川崎市	2.20	熊本市	100.9	千葉市	104.2
12	広島市	2.29	川崎市	101.0	仙台市	105.1
13	熊本市	2.31	千葉市	101.3	新潟市	105.7
14	北九州市	2.50	岡山市	102.0	相模原市	106.3
15	福岡市	2.87	さいたま市	102.5	大阪市	106.5
16	堺市	3.10	仙台市	103.1	神戸市	106.9
17	京都市	3.13	北九州市	103.2	北九州市	108.6
18	神戸市	3.14	京都市	103.3	広島市	109.0
19	札幌市	3.82	福岡市	103.7	堺市	109.2
20	大阪市	5.47	静岡市	103.8	京都市	110.9
	単純平均	2.39	単純平均	100.9	単純平均	103.9

※出典：政府統計の総合窓口
(平成27年度被保護者調査)

※生活保護率(人口百分)

※出典：平成28年地方公務員
給与実態調査結果(総務省)

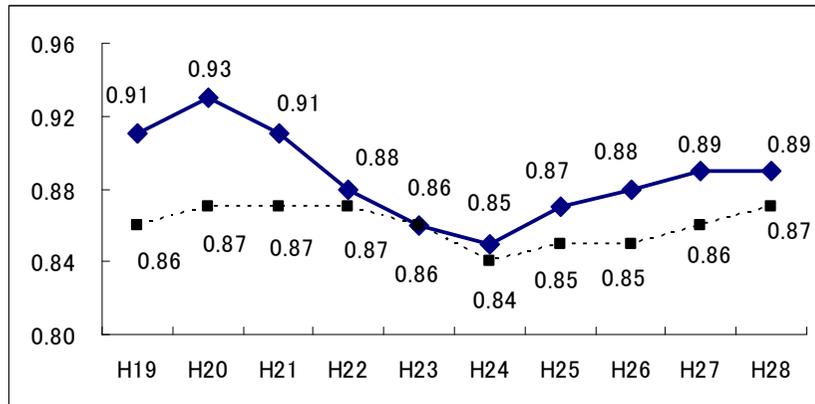
※27年度決算

- 生活保護率、実質的な経常収支比率は政令指定都市第1位
 - ラスパイレス指数は上位
 - 償還期間を前倒しした起債借入
縁故債10年償還(借換なし)
市場公募債10年償還(借換1回)で借入れ
※総務省による、満期一括償還地方債の元金償還に
充てるための減債基金への標準積立ルールである
毎年度発行額の「30分の1(30年)」を「20分の1
(20年)」と設定
- ⇒実質公債費比率は高くなるが、
将来負担比率が良好に

普通会計決算の状況～経年変化～

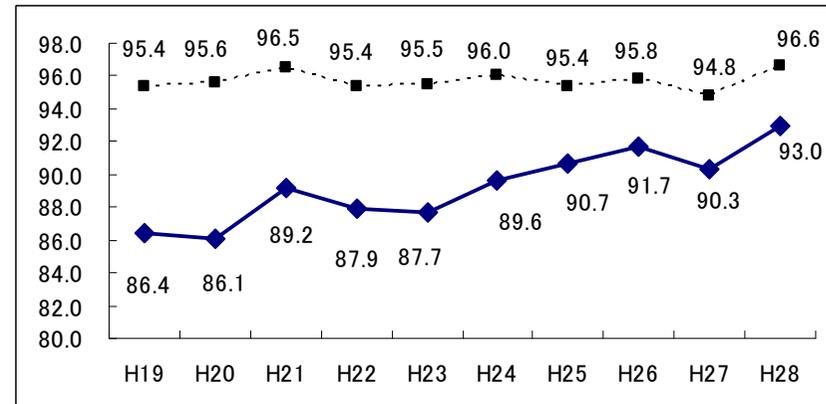
財政力指数

-基準財政収入額の増要因があるものの横ばい-



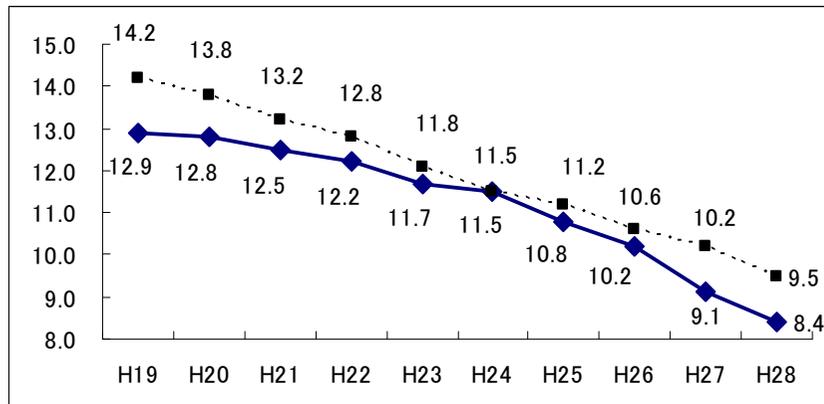
経常収支比率

-経常経費の増と経常一般財源の減により2年ぶりに悪化-



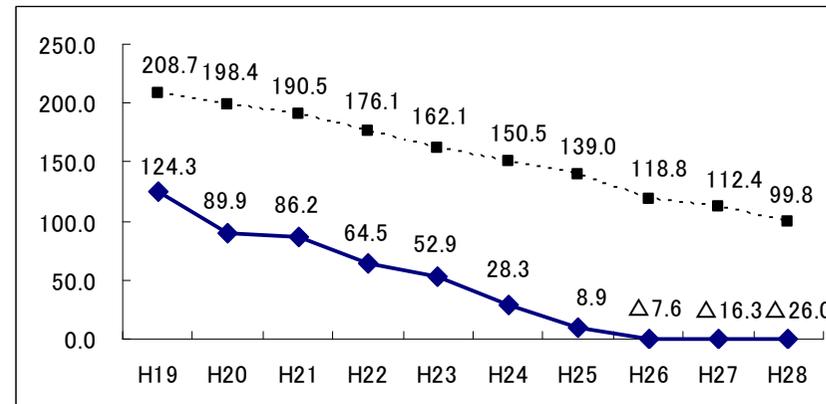
実質公債費比率

-元利償還金の減などにより改善-



将来負担比率

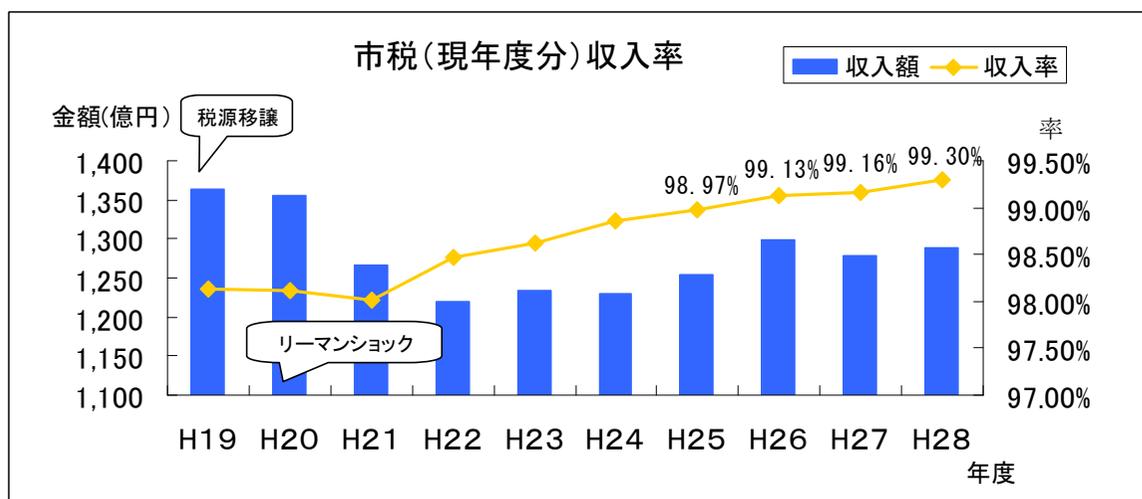
-充当可能財源等が将来負担額を上回る-



◆ 浜松市 ■ 政令市平均

※H28政令市平均はH28決算速報値の単純平均

収入率の向上と滞納額の削減



「第4次市税滞納削減アクションプラン」 (平成28年度策定)

- ・口座振替の促進
- ・コンビニ納付の拡大
- ・特別徴収事業所の指定の徹底と適正な管理
- ・現年分滞納整理の早期着手の強化
- ・法令を遵守した法的処分の徹底 など

平成28年度現年課税分収入率：99.30%

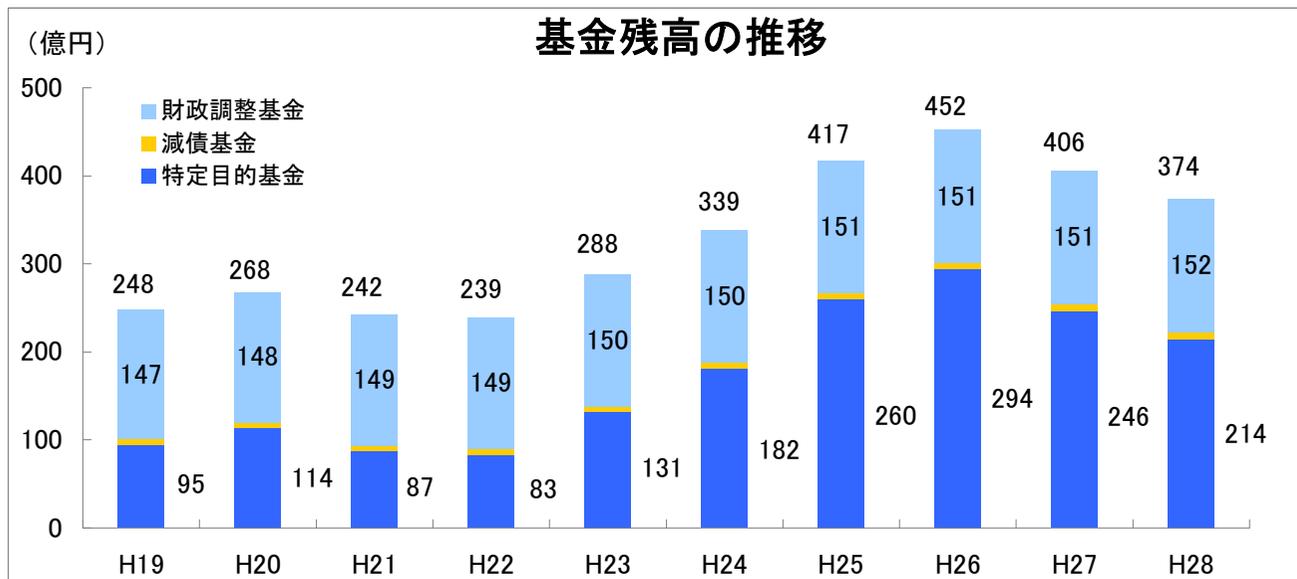
※目標値：99.20%を達成、過去最高

(具体的な取組みによる実績)

- ・口座振替の推進
口座振替利用率 55.49%(前年度比0.2%増)
- ・コンビニ対応による納付機会の拡大
コンビニ納付件数 410,291件
(前年度比83,084件増)

基金残高の状況

基金残高 374億円（前年度比32億円減）



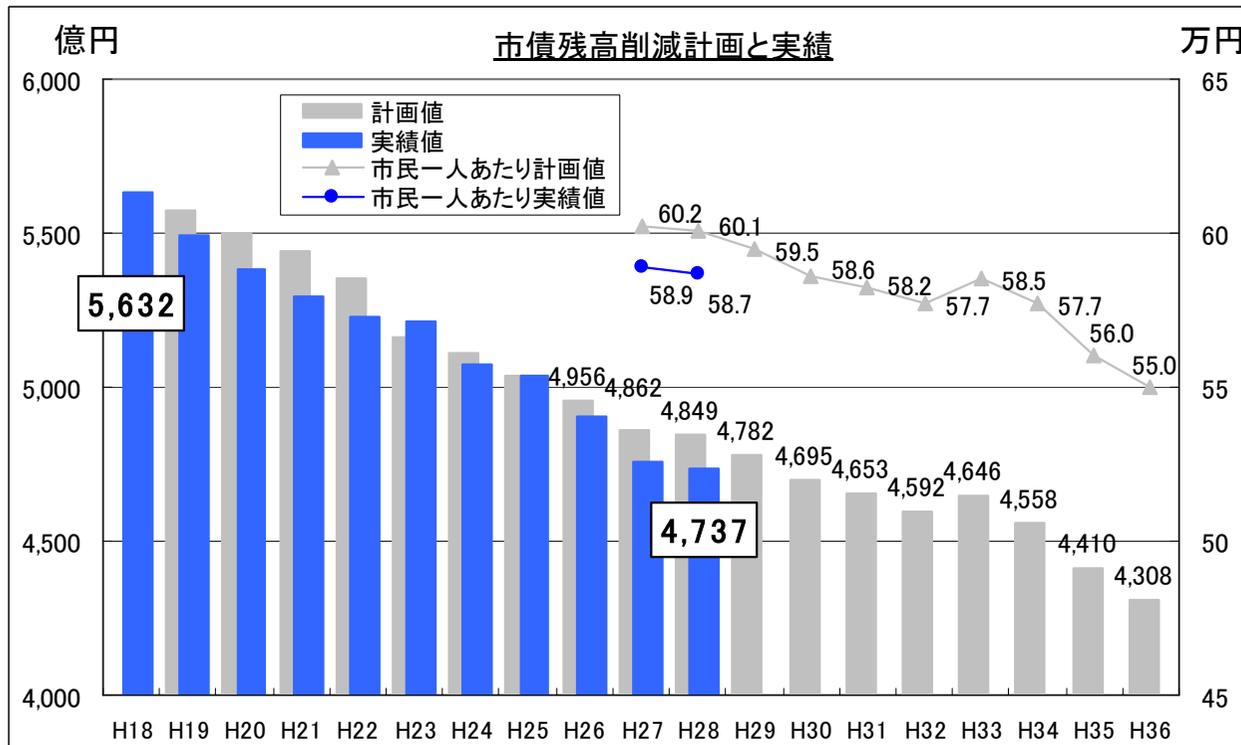
- ・ 商工業振興施設整備基金残高は、新・産業集積エリア整備事業のために積み立てた過年度の積立金を取崩したため、前年度比28億円の減
- ・ 一般廃棄物処理施設整備事業基金残高は、新清掃工場建設に対する財源確保のための積み立てにより前年度比11億円の増
- ・ 市民一人あたりの基金残高は4.6万円となり、前年度比4千円の減
※類似都市平均及び政令指定都市平均は3.6万円

（単位：億円）

区分	H27		H28	
	年度末残高 A	積立金 B	取崩 C	年度末残高 A+B-C
1 財政調整基金	151	0	-	152
2 減債基金	8	1	-	9
3 特定目的基金	246	40	72	214
資産管理基金	91	7	18	80
一般廃棄物処理施設整備事業基金	10	17	6	21
商工業振興施設整備基金	36	0	28	8
その他	110	16	20	105
合計	406	41	72	374

市債残高の状況

市債残高 4,737億円（前年度比18億円の減）



- ・平成28年度末市債残高4,737億円に対する市民一人あたりの市債残高は58.7万円
- ・中期財政計画の平成28年度計画値60.1万円以下を達成

【一人あたり市債残高】

順位	市名	残高(万円)
1	相模原市	50.2
2	さいたま市	52.5
3	浜松市	58.7
	政令指定都市平均	107.6

※28年度末の全会計（速報値より）

※人口はH29年3月末日時点の住民登録者数

- ・市債残高は平成18年度から平成28年度までの10年間で895億円(15.9%)の減
- ・市民一人あたりの市債残高は政令指定都市の中で3番目に少ない
- ・中期財政計画（H27年度～H36年度）の目標は、一人あたり市債残高を平成36年度末までに55.0万円/人以下

公営企業会計決算の状況

下水道事業では、コンセッション方式に向け大きく前進
病院、水道事業では、純利益を確保

下水道事業 ～日本初のコンセッション方式～

浜松市内最大処理区である西遠処理区において、処理場・ポンプ場に運営権を設定し、民間事業者が20年間にわたり、対象施設の維持管理と機械電気設備の改築更新等を実施。

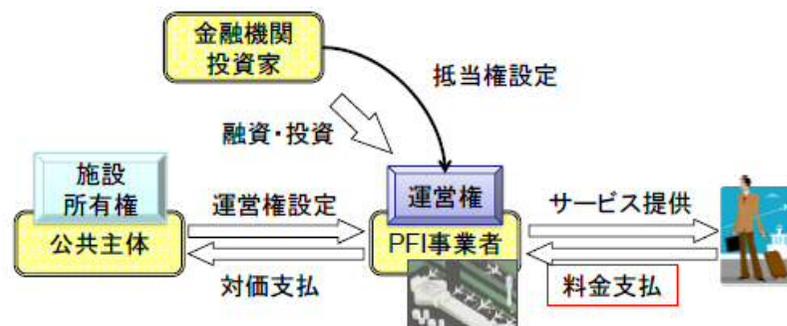


スケジュール

- ・平成28年4月～ 西遠流域下水道移管
- ・平成29年3月 優先交渉権者の選定
- ・平成29年10月 運営権設定・実施契約の締結
- ・平成30年4月 コンセッション事業開始

コンセッション方式とは

- ・利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者を設定する方式
- ・民間事業者による安定的で自由度の高い運営を可能とすることにより、利用者ニーズを反映した質の高いサービスを提供



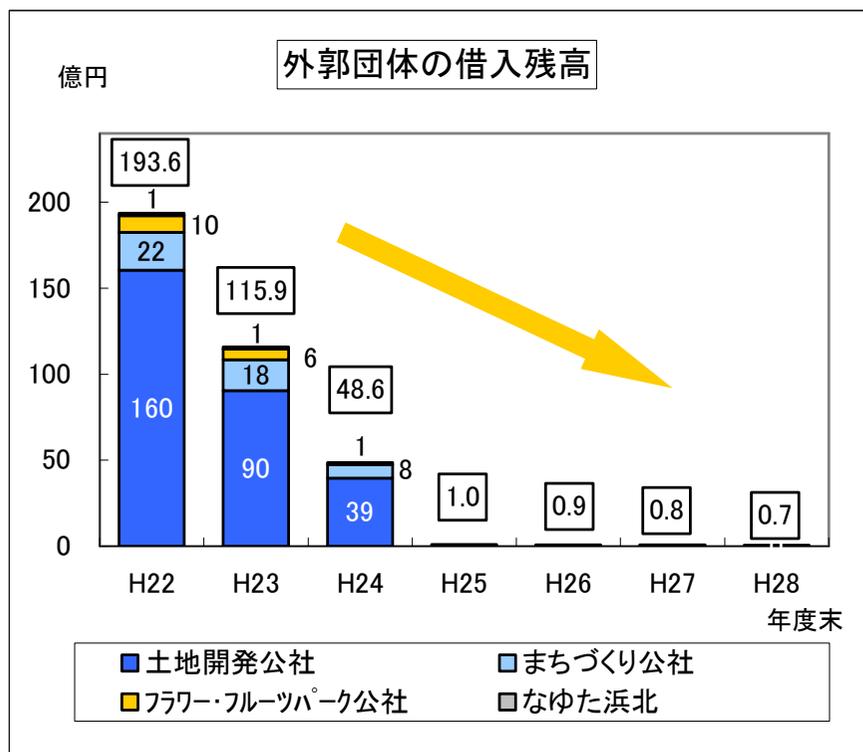
【全公営企業会計28年度 損益収支】

(単位:億円)

区分	病院事業	水道事業	下水道事業
総収益	74.6	115.2	217.8
総費用	73.5	104.9	242.4
純利益 (△純損失)	1.1	10.3	△ 24.5
累積剰余金 (△累積欠損金)	17.6	23.0	△ 6.3

外郭団体の経営健全化

借入残高は7,000万円（年1,000万円ずつ償還中）



- H28末借入残高 7,000万円（なゆた浜北）
※1,000万円／年ずつ償還中
- H26～H28：団体の自主性を尊重しつつ、市の政策実現を担うための健全経営を後押しする仕組みを構築するため「外郭団体コミットメント」による必要な関与を実施

外郭団体の収支状況及び市からの支出金への依存度

(単位: 百万円、%)

No.	市議会	団体名	市出資比率	28年度経常収支			28年度総収入	浜松市からの支出額	市収入依存度
				収益	費用	経常増減			
1	★	(公財)浜松市花みどり振興財団	100.0%	552	571	△ 18	555	112	20.2%
2	★	(公財)浜松市医療公社	100.0%	16,000	16,000	0	15,840	990	6.3%
3		(福)浜松市社会福祉事業団	100.0%	1,298	1,264	34	1,346	316	23.4%
4	★	(公財)浜松市文化振興財団	93.5%	2,630	2,619	11	2,630	1,607	61.1%
5	★	(株)なゆた浜北	78.0%	148	141	7	148	31	21.2%
6	★	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	56.2%	444	413	31	444	195	43.8%
7	★	(一財)浜松市清掃公社	50.0%	785	866	△ 81	786	43	5.5%
8		(公財)浜松市勤労福祉協会	45.5%	486	485	1	486	38	7.8%
9		(公財)浜松国際交流協会	42.4%	114	110	3	114	97	85.7%
10		(一財)浜松まちづくり公社	25.1%	537	467	71	537	140	26.0%
11		(公財)浜松観光コンベンションビューロー	20.8%	166	166	△ 1	166	109	65.6%
12		(公財)浜松体育協会	15.1%	991	947	45	991	521	52.6%
13		(福)浜松市社会福祉協議会	0.0%	1,422	1,421	1	1,491	841	56.4%
14		(公財)シルバー人材センター	-	1,806	1,812	△ 6	1,806	700	38.8%

※団体名称は平成28年度末時点

※市議会欄の★は市議会へ経営状況を報告している法人

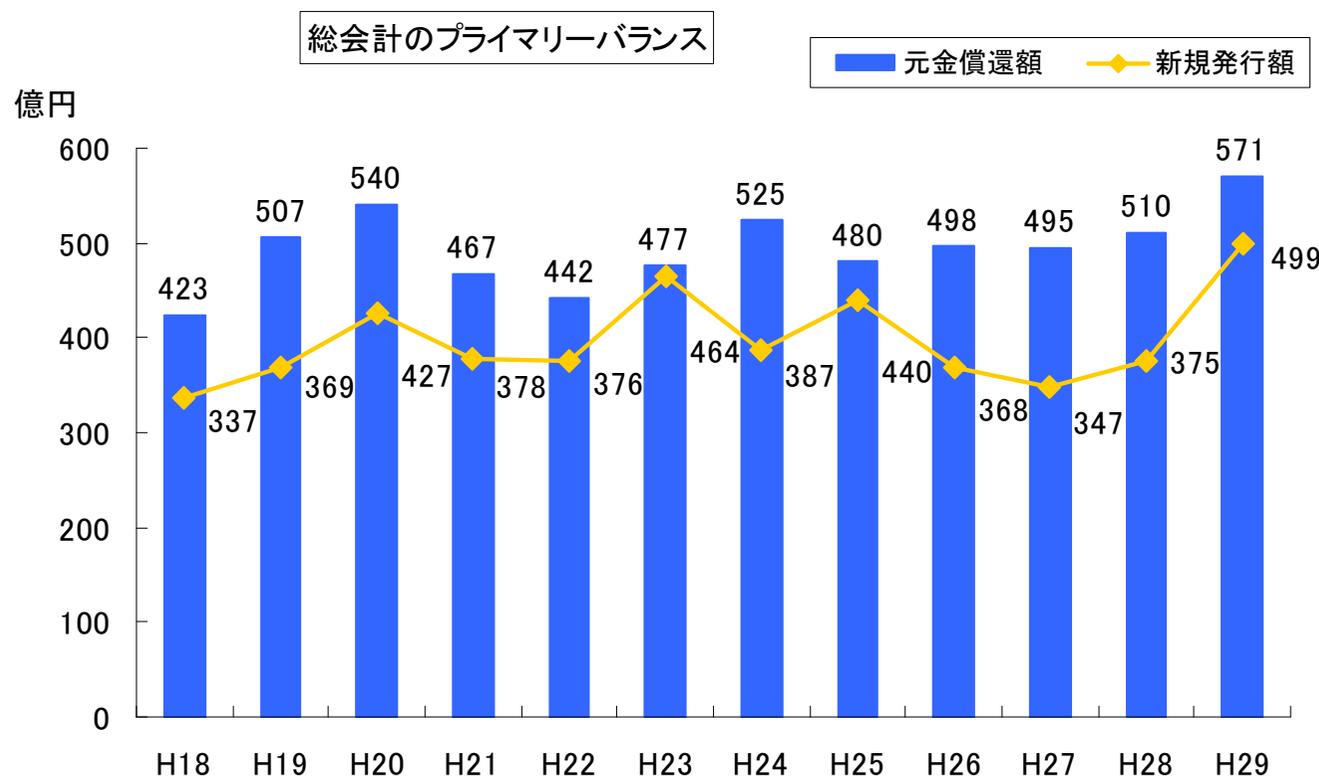
4 市債発行方針

- 市債管理方針
- 減債基金の積立
- 浜松市の格付け
- 平成29年度市場公募債発行概要



市債管理方針

元金ベースのプライマリーバランス黒字を維持



- 臨時財政対策債を含めた全ての市債の合計で、元金ベースのプライマリーバランス黒字を維持
- 将来の負担軽減、リスクの徹底排除により、中長期にわたる健全財政を維持

<発行ルール>

- ・ 中期財政計画に基づく市債の発行抑制
- ・ 元金償還額未満の発行による市債残高の削減

<償還ルール>

- ・ 新発債について償還ペースの維持・短縮

※

PB	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	86	138	113	89	66	13	138	40	130	148	135	72

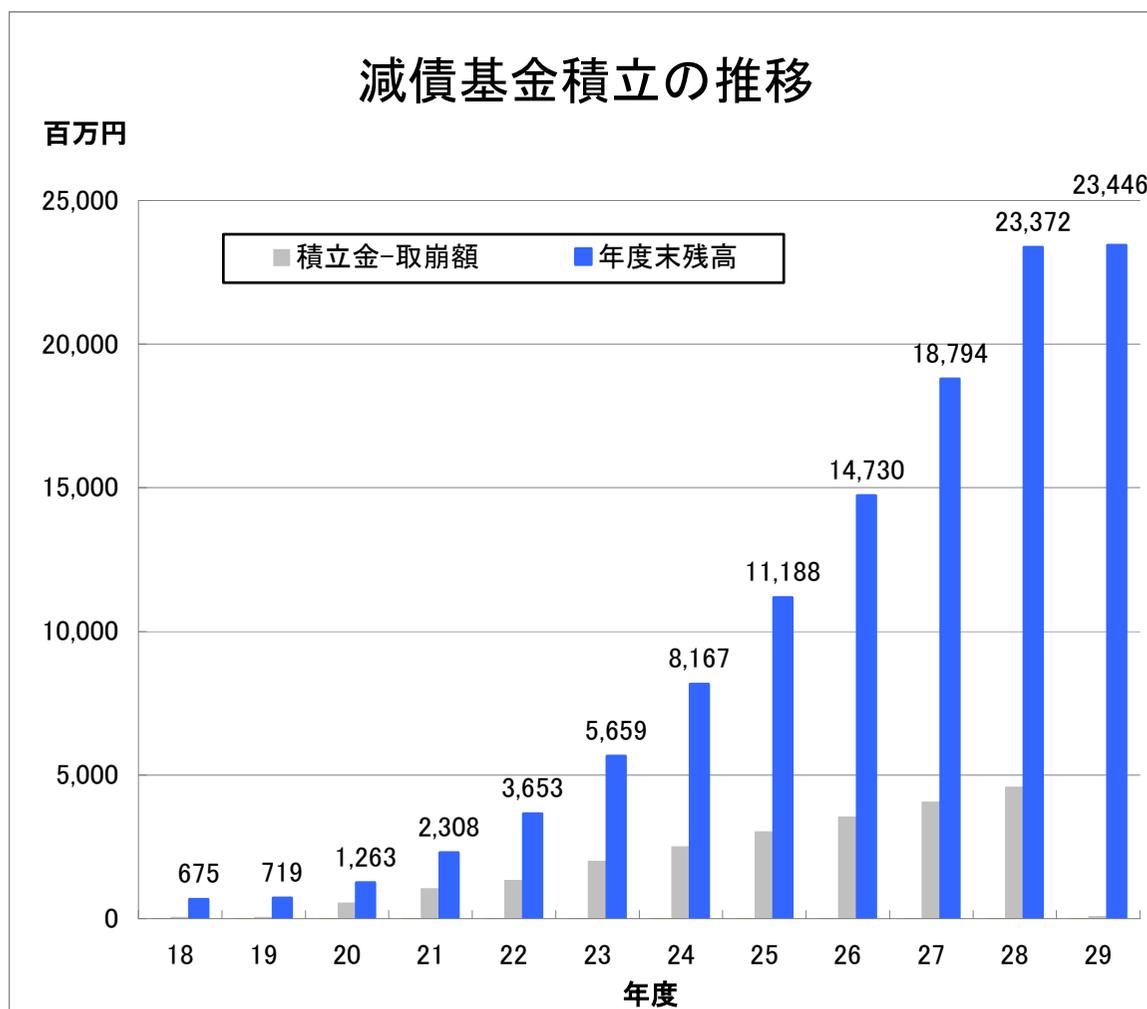
※H28までは実績値、H29は当初予算ベース

※PB (プライマリーバランス)

市債の借入額と償還額（元金と利子）とを比較した基礎的財政収支。本市ではより厳しい条件である元金償還と比較

減債基金の積立

毎年発行額の1/20を減債基金に積立（据置なし）



- ・ 実質公債費比率の基準よりも前倒しの積立を実施
- ・ 平成29年度から、50億円を積み立てる一方、償還時の財源とするため、毎年50億円の取崩しを行う

減債基金 年度別一覧 (単位:百万円)

年度	元金積立	利子積立	取崩額	年度末残高
18	40	2	0	675
19	40	4	0	719
20	540	4	0	1,263
21	1,040	5	0	2,308
22	1,540	5	△ 200	3,653
23	2,000	6	0	5,659
24	2,500	8	0	8,167
25	3,000	21	0	11,188
26	3,500	42	0	14,730
27	4,000	64	0	18,794
28	4,500	78	0	23,372
29	5,000	74	△ 5000	23,446

浜松市の格付け

ムーディーズ・ジャパン株式会社

A 1

(エーワン)

[アウトルック：安定的]

B C A : a2

依頼格付取得地方自治体一覧(2015年度スコア)

都市名 ※クレジット・オピニオン公表日	浜松市 H28.10.14	福岡市 H29.2.7	静岡県 H29.1.25	堺市 H28.9.23	札幌市 H29.5.15	静岡市 H28.10.5	名古屋市 H28.12.16	大阪市 H29.3.8	京都市 H29.6.14	横浜市 H29.4.3
地域経済のファンダメンタルズ	0.76	0.48	0.48	0.48	1.04	0.48	0.20	0.20	0.48	1.04
制度の枠組み	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
財政実績と債務状況	0.98	1.05	1.05	0.90	0.83	0.83	0.90	0.90	1.13	1.05
行財政運営の状況	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	1.5	1.5	1.5	1.5	0.3
推定個別リスクスコア (浜松市との差)	2.64 (-)	2.43 0.21	2.43 0.21	2.28 0.36	2.77 (0.13)	3.41 (0.77)	3.20 (0.56)	3.20 (0.56)	3.71 (1.07)	2.99 (0.35)
推定BCAスコア	a3	a2	a2	a2	a3	a3	a3	a3	baa1	a3
BCA	a2	a2	a2	a2	a2	a2	a3	a3	a3	a3
発行体格付け	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1

※各レポートの更新時期により、推計GDPなどの数値が若干異なっている場合がある

※表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないことから、合計と一致しない場合がある

<格付を支える要因>

- 義務的経費の伸びが抑制された良好な財政状況
- 堅実な財政運営の実績に示される強固な行財政運営
(↑浜松市独自評価の要因)
- 中央政府による地方財政監視の強固な制度的枠組み
(↑全自治体共通の要因)

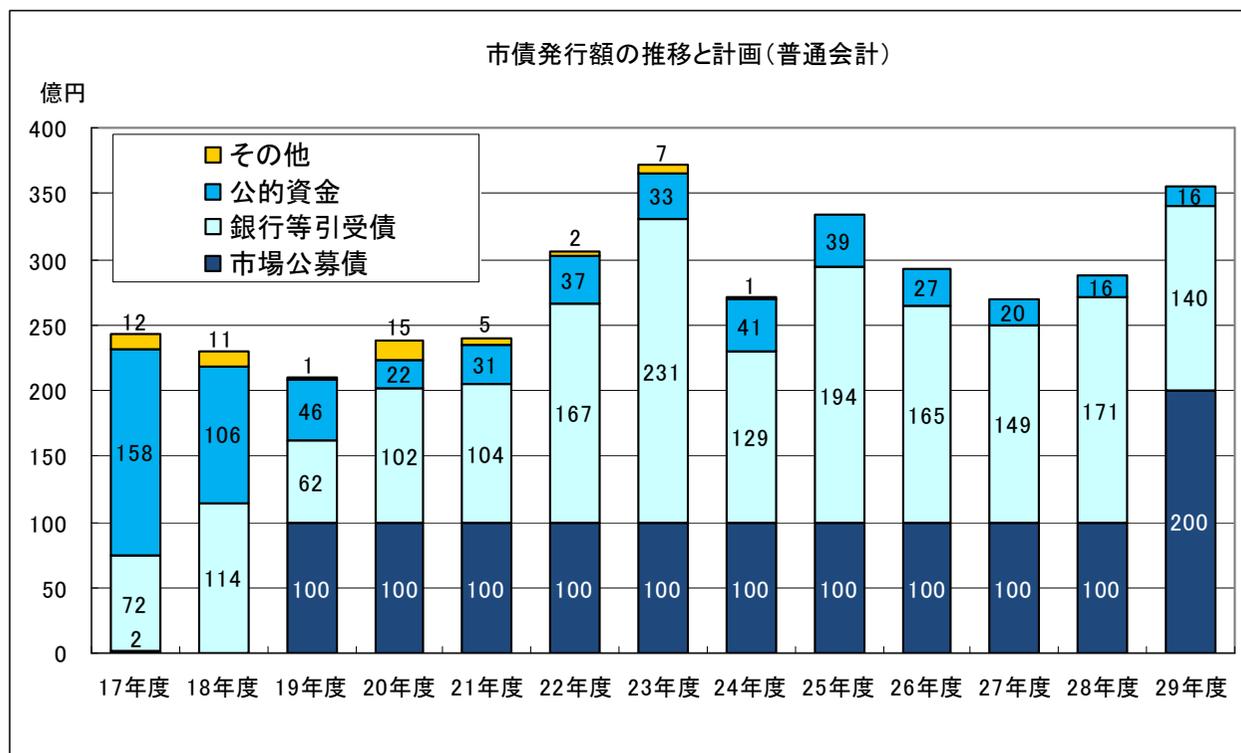
平成29年度市場公募債発行概要

発行額：200億円（10年債）

発行日：平成30年1月下旬予定

【浜松市債引受シンジケート団】

銀行 団	(株)静岡銀行
	(株)みずほ銀行
	(株)三井住友銀行
	(株)新生銀行
	(株)あおぞら銀行
	浜松信用金庫
	遠州信用金庫
証券 団	みずほ証券(株)
	野村證券(株)
	大和証券(株)
	SMBC日興証券(株)
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
	岡三証券(株)
	東海東京証券(株)
	ゴールドマン・サックス証券(株)
	バークレイズ証券(株)
	しんきん証券(株)
(株)SBI証券	



※28年度までは実績、29年度は当初予算ベース



浜松市

HAMAMATSU CITY

浜松市 財務部 財政課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2274

FAX 050-3730-0119

e-mail zaisek@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>